

令和6年度第2回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会議事要旨

1 日 時 令和6年7月6日（土）午前9時～午前10時30分

2 場 所 吹田市役所本庁舎 高層棟4階 特別会議室

3 欠 席 1名

4 議事録（概要）

（事務局）

定刻となりましたので、第2回選定等委員会を開催いたします。本日の委員の出席状況ですが、委員長が欠席されていますが、4名の委員に御出席いただいておりますので、選定等委員会規則の開会要件を満たしていることを御報告いたします。それでは、副委員長に進行をお願いします。

（副委員長）

本日の案件は、豊二、南山田、佐竹台及び津雲台育成室の現状報告です。各育成室から指導員に出席をしていただき資料に沿って説明をしていただきます。また、配付されている資料1、各育成室ヒアリング資料を御参照ください。委員の皆様におかれましては、委託事業者選定の一次審査に当たり、5段階評価で採点する上で、直営育成室の現状、標準的な運営状況の基準となる「ふつう」のレベルについて御確認いただきたいと考えています。それでは、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

各育成室の指導員からのヒアリングに先立ちまして、本市の留守家庭児童育成室の状況について事務局から御説明をさせていただきます。

資料1では、本市の直営育成室の状況や、今回委託対象となる4育成室の児童数、指導員数、昨年度の実施行事などの状況をお示ししています。

現在、育成室入室児童数が増加しており、今後、数年間はこの傾向が続く見込みであることから、指導員の確保が難しく、多くの育成室で欠員が生じている状況です。指導員の欠員解消の方策の一つとして運営業務の民間委託を行っており、一昨年度の民間委託から毎年2か所程度、育成室の民間委託を計画しています。待機児童の早期解消、指導員の早期欠員解消を図るために4か所の育成室を委託する予定となっています。

次に、ヒアリングについて説明をさせていただきます。指導員から各育成室の環境や保育内容などを説明し、その後、質疑応答となります。各育成室の基本的な情報に関しましては、説明資料のとおりとなっていますので、合わせて御確認ください。

(副委員長)

それでは、豊二育成室のヒアリングを行います。

【豊二留守家庭児童育成室の概要を指導員から説明】

(副委員長)

何か御質問がありましたらお願いします。

(委員)

児童数が増加する中、関係づくりの工夫としてクラス替えをせずに過ごしてきたのですが、今後クラス替えをする場合、学年間で交流が深まるように、何か大切にされているものとか、普段の子供たちの様子や保護者との相談をどのようにされているか、具体的なお考えがあれば教えてください。

(指導員)

この2年間はクラスの単位で過ごしてきましたが、遊びの中では時間を合わせて運動場で過ごしているのです、その際はクラスを超えた関係があると思っています。ただ、学年や遊びが違っていると、お互いに名前を知らない児童もいるというところでは、今年から集団遊びを復活させようと考えています。そうすることで、いつもの自由な遊びとは違い、いろんな人と交流できるので、顔を知っていくところから始めて、新たな仲間関係をつくっていったらと考えています。

(委員)

育成室では異学年交流として、高学年がリードし低学年の児童たちと過ごすことで協調性等を学んでいかれると思いますが、繊細な児童が多い場合、リーダーとなる児童の負担になるのではないかと思います。どのように対応されているのでしょうか。

(指導員)

子供たちは期待感を持って前向きにリーダーに取り組んでいます。低学年の児童も高学年のそういった姿を見て、リーダーをしたいと言ってくださるほど前向きな児童が多い印象です。班活動があるので、学年を超えても密に繋がることができますし、異学年での関係をつくることができます。離れた校舎に1クラスあるため、そのクラスの児童とは同じ学年同士であれば交流はありますが、異学年となると関係は薄いかなという印象はあります。

(委員)

校舎が離れているということで職員間の連携が大変だと思いますが、お昼のミーティングなどで情報共有を行っているのでしょうか。

(指導員)

打合せで生活の流れは合わせるようにしています。繊細な子供たちが見通しと自信をもって生活するためには、毎日をルーティーンで過ごすことで、この時間になったらこ

れをするということが理解でき、リーダーができるようにしています。クラス間で流れに変更ある場合は、携帯電話で連絡を取り合って連携しています。

(委員)

豊二育成室の特性を踏まえて、運営上注意している点があれば教えてください。

(指導員)

子供たちが困ったことなどに気付けるように注意しています。児童数が増えるほど子供たちからの発信がないと気づきにくくなるので、困ったらいつでも相談に来てねと常に伝えていきます。また、保護者の方ともいつでも相談できる関係をつくることで、早く対応できるように意識しています。

(委員)

今のお話に関連するかもしれませんが、全体的に繊細なお子さんが増えているような印象があります。そのような中で学校としては、登校渋りや不登校が年々増加している状況があり大きな課題となっています。育成室でも、登室渋りといったことがあるように見受けられますが、豊二育成室ではそういった実態があるのでしょうか。ある場合はどのように対応されているか、ないのであればそれを未然防止するためにどのような手だてをとっておられるのでしょうか。

(指導員)

基本的には登室を渋っている児童はいないと思っています。そうならないために楽しい、行きたいと思えるように、子供たちが何をしたいのか、目的などを3、4年生中心に話し合いながら実現できるように支援していくことを心掛けています。また、困り感を残さないというところはすごく気にしているので、子供たちの表情に注意を払うようにしています。そういったこともあり、子供を見ている時間を大事にしたいため、連絡帳に今日の様子等は書くことができていない状況にあります。その点については、保護者の方に目的をお伝えし、重要なことはお返事しますが、日々の様子は連絡帳にてお返することは難しいことを理解していただいています。そういった面を補うために懇談会やお便り等で子供たちの様子をお伝えし、年に1回希望制で個人懇談をすることでフォローしている状況です。今後、登室を渋る児童があった場合は、保護者と連絡を取り合いながらどういう形にしたら登室できそうかというところを探っていきたいと思います。

(委員)

ここ最近の猛暑が続く中、熱中症警戒アラートも頻繁に発令されているところですが、育成室と太陽の広場と学校で対応基準は打合せされていますか。

(指導員)

太陽の広場と学校と育成室の3者で2か月に1回開催されるフレンド会議の中で、熱中症対策や基準のずれがないように確認し合いながら運営している状況です。

(副委員長)

質問は以上でよろしいでしょうか。それでは、南山田育成室のヒアリングを行います。

【南山田留守家庭児童育成室の特徴等を指導員から説明】

(副委員長)

何か御質問がありましたらお願いします。

(委員)

保護者からの相談内容としては、子供同士の関係性に関わる内容が多いですか。

(指導員)

育成室の時間内というよりは、放課後に子供同士が遊んでいてトラブルが起きた際の相談が多いと感じています。

(委員)

個人懇談を中心に関係づくりを進めているということですが、例えば、子供が招待して保護者も参加するような行事で保護者同士が繋がる機会の計画はありますか。

(指導員)

昨年度に卒室式と合わせて生活発表会を体育館で実施しました。日常の保育の行事にも自由に参加していただけるようにしていますが、両親ともフルタイムで勤務されている家庭が多いので、平日の行事への参加は少ないと感じています。

(委員)

立地条件や配慮を要する児童への対応など、指導員の負担もあるかと思いますが、要配慮児への対応などは指導員間で情報共有はされているのでしょうか。

(指導員)

日頃から保育時間前に1時間程度打合せを行っており、気になる児童の様子などは毎日話すようにし、児童ごとへの対応方法を全クラスの指導員で共有しているので、もし他のクラスの児童に飛び出しなどがあっても誰でも対応できるように日頃から心がけています。

(委員)

特性を持った児童や不登校の児童に対する対応で気をつけていることはありますか。

(指導員)

保護者と連携しながら何が今この子にとって優先すべきことなのか気をつけながら保育を行っています。メンタル面はすごく繊細だと思っているので、小さなことでも見逃さないように、周りにも配慮しながら特別感が出ないように配慮しています。そういう部分は保護者との連携がすごく必要だと考えていますので、個人懇談や相談の時間はとるように連携しています。

(委員長)

質問は以上でよろしいでしょうか。それでは、佐竹台育成室のヒアリングを行います。

【佐竹台留守家庭児童育成室の特徴等を指導員から説明】

(副委員長)

それでは、何か御質問がありましたらお願いします。

(委員)

1点目、保護者からの御相談はどういった内容が多いのでしょうか。

2点目、熱中症警戒アラート発令時の対応について、学校等とどのように連携されているのでしょうか。

(指導員)

1点目、保護者からよく相談いただく内容としては、児童の様子や発達段階に関する相談が多いです。児童に応じて特性のお話などもさせていただいています。

2点目、熱中症警戒アラート発令時の判断としては、基本的には指数系を用いていますが、指数が基準を下回っていても気温が危険な場合は外遊びを中止するようにしています。少しの時間外遊びをする場合も、水分補給の声掛けを徹底しています。

(委員)

太陽の広場との関わりについて、今は熱中症の危険もあり一緒に遊ぶ回数も減っているのではないかと思います。普段大勢の児童がグラウンドで遊ぶときにおもちゃの利用などトラブルもあるかと思いますが、太陽の広場と共有した事例はありますか。

(指導員)

太陽の広場に参加できるようになったのが前年度からになります。以前までは、育成室の児童数が多いので、太陽の広場への参加をお断りされていましたが、友達と遊ぶ機会がそこしかないという声もあり、前年度に太陽の広場会議に参加した際に一緒に遊ばせてもらえないか相談し遊ぶことができるようになりました。その際には、太陽の広場の道具は、太陽の広場の子と一緒に遊ぶ場合は使ってもいいが、それ以外の場合は、育成室の児童は育成室の道具を使用するというルールになっています。一輪車に関しては、育成室の児童は育成室の一輪車を使用し、太陽の広場の児童は利用できないようにしています。ケガをした際の責任の所在確認のためにも、一輪車に関しては太陽の広場には学校の一輪車を使っただけでいいです。今年度に関しては、太陽の広場の方から太陽の広場の道具を使ってもよいと言っただけでいいです。通常、育成室の時間には鉄馬などは使えませんが、太陽の広場の時間には使えるので、そちらは使わせていただいています。また、昨年度からわかたけまつりに太陽の広場の児童にお客さんとして参加していただくなど連携しています。

(委員)

運営の中で特に気をつけられていることやその上での難しさがあれば教えてください。

(指導員)

校区が広く下校ルートによっては児童数が少なく、交通量の多い箇所や暗い道もあるため、下校の際に1人になる児童がいないように対応しています。

(副委員長)

質問は以上でよろしいでしょうか。それでは、津雲台育成室のヒアリングを行います。

【津雲台留守家庭児童育成室の特徴等を指導員から説明】

(委員長)

それでは、何か御質問がありましたらお願いします。

(委員)

子供たちの関係づくりについて、異学年でクラスを編成されているかと思いますが、そのクラス替えのときの子供たちの様子や配慮していること、また、クラスを超えての遊びとか関係づくりについて教えてください。

(指導員)

クラス編成について、保育園等からの聞き取りで情報があつた場合は配慮するようにしています。入室前の面談の際に保護者とのやりとりを記録し、一年生はそれをもとに作っていきます。上級生になると指導員が子供を見ているので、この子と一緒にあれば関係が広がらないとか、指導員も補助員も含めて、子供の様子を話し合い1人の主観ではなく、子供の関係に気をつけてクラスを作っています。また、クラスを越えた子供たちの関係について、基本的にはどのクラスも行き来して遊んでもよいルールとしています。生活面でおやつや昼食時はクラスで行いますが、それ以外は他のクラスの子と遊ぶ子供たちが多いです。学年を超えても違うクラスの児童と遊ぶ姿もあり、育成室全体としてまとまって様々なことを進めているという実感があります。

(委員)

近隣の大学サークルと年に3回の交流行事を行っているようですが、これはどのようなものでしょうか。

(指導員)

大学生が来られて、事前にプログラムやスケジュールなどの打合せを行い、子供たちの自由遊びと一緒に参加して遊んでいただいたり、プログラムとして室内ゲームや紙芝居、ペープサートをしていただいたりしています。やはり外で遊ぶと子供たちの関係はすぐ

く広がって、年齢やクラスを超えた関係も広がるので、そういう面も含めて外遊びを大事にしています。ペープサートや紙芝居はすごく子供たちが楽しんでおり、今度は自分たちが行事の時に出し物としてやりたいと言うほど、すごく憧れを持って取り組んでいます。

(委員)

太陽の広場が月2回実施されているということですが、太陽の広場のスタッフとの情報共有はどのようにされているのでしょうか。

(指導員)

太陽の広場は学校の大運動場で活動しており、育成室から太陽の広場へ行こうと思うと移動に時間がかかりますし、安全面の責任と早帰りなどの対応ができないため日頃の交流はありません。交流としては、避難訓練やすぎのこまつりという秋の大きな行事で交流を行っています。すぎのこまつりは大運動場で行いますが、その時に太陽の広場の児童が遊びに来ることをお互いの楽しみとしています。ブロックアドバイザーとの連絡会議には参加しており、校長先生、教頭先生を含めて子供の様子を共有し、交流の機会を探るようになっています。

(副委員長)

質問は以上でよろしいでしょうか。

それでは、以上で第2回委託事業者選定等委員会を閉会します。